パレード楽しかった

国際児童年記念新津市中央大会に2000人

七月十五日、市民会館で「国際児童年記念新津市中央大会」が盛大に開かれました。

当日は朝方、雨がパラつくなど天候が心配されたものの、市内各地区から集まった親子約二千人で会場はギッシリ。大会では、親と子の意見発表、決意表明などが行われ、次代をたくす子どもの成長を真剣に考える熱気にあふれていました。

また大会終了後、本町三交差点から市役所前まで行われたパレードでは、県警音楽隊とカラーガールズが見事なドリルを披露。沿道を埋めつくした観衆を魅了しました。

なおボーイスカウト、ガールスカウトのみなさんのご協力で会場募金も行われ、十万六千八百十八円もの暖い善意が寄せられました。

このお金はノートなどの学用品に代え、ユニセフを通じて、発展途上国の子どもたちに贈ることにしています。

ご協力に感謝します

またこの大会に、次のようなご協力が寄せられました。ありがとうございました。

▼市内金融団、労金…アドバルーン一週間（十万円相当）▼商店連…PR用垂れ幕十六張（三万二千円相当）▼新津ロータリークラブ…三万円▼新津中央ロータリークラブ…三万円▼新津ライオンズクラブ…三万円▼新津秋葉ライオンズクラブ…二万円▼新津薬業組合…一万円（以上敬称略）

決算報告

国際児童年記念
新津市中央大会実行委員会

広報の紙面を借りて、この大会の決算をお知らせします。

大会要項 ポスター ワッペン 風船	等印刷、消耗品関係 …… 33万8000円
看板、幕等委託料	…… 21万円
バスなどの自動車借上げ料	…… 27万5000円
「にいつ松籟太鼓」ほか出演団体等への謝礼	…… 7万7000円
計	90万円

お買物、ご用命は市内で

新製品紹介．夏の味覚ゼーリーで!!

涼菓 花の里

さつきの町、にいつを梅・野苺などで花の香りを表現してみました。… 1ケ120円

にいつ ホーサカヤ TEL2-0112

― 決意表明 ―

婦人代表 増山愛子

増山愛子さん

私たちおとなは、子どもたちが健やかに成長して、本当に幸せになることをねがっています。もし、子どもたちが、社会に出て自分の当然の権利すら行使できなかったり、才能を十分に伸ばすことができず、社会的適応力を欠くとしたらどうでしょう。親として、おとなとして、こんな悲しいことはありません。

私たちは、子どもたちが元気に育っていくように、みんなで考え、努力していこうとするこの国際児童年を機に、子どもたちの本当の幸せは一体どんなところにあるのかを、ぜひ考えていきたいと思います。

そのためには、子どもたちの世界を直視し、そのありのままの姿を理解することが必要と思います。そして、そんな中から、新しい親子関係のあり方が見い出せるなら、それはすばらしいことに違いありません。

未来をになう子どもたちのため、私たちは次のことをみんなで誓い合おうではありませんか。

私たちは、子どもたちが健康で、豊かな情操が育つ環境づくりを進めます。

私たちは、子どもとの日常生活を見直し、明るい家庭をつくります。

私たちは、子どもたちの姿を正しく認識し、自主性と創造性を伸ばすことに努めます。

私たちは、子どもたちの夢をはぐくみ、恵まれない子どもたちに、あたたかい手を差しのべます。

以上、国際児童年記念新津市中央大会の名のもとで、決意いたします。

昭和五十四年七月十五日

私はこう考える

―親と子の意見発表から―

（紙面の都合で、要旨だけにとどめました。）

竹石利之くん

藤田聖子さん

笠原栄作くん

深井潤子さん

渡辺昌吾さん

たくましい若者に

昔とちがって、今は自分の好きなことが自由にできる世の中です。また学校でも家庭でも地域でも、ぼくたちを国の宝として、大事にしてくれています。でもそれに甘えずに、じょうぶな体づくりと、感謝と友愛と奉仕の心をもって、たくましい若者に成長したいと思います。

平和を世界中に

小学生の頃、ベトナムのみなしごの少女の自伝を読み、平和の尊さを知りました。

私は、世界中の子どもが、国際児童年のマークのように――大きな母の手の中で、元気に手を広げる子ども――あってほしいと思います。そのためには、再び戦争をくり返してはならないのです。

積極的に、自主的に

無関心、無責任、無協力の高校生が増えているといわれます。全部がそうだとはいえないのですが、私たちも、積極的に、自主性を持つのが必要だと思います。また将来は、工業技術者として、微力ながらも社会に貢献したいと思います。それが自分に課せられた使命だと思うからです。

みつめ直す機会に…

国際児童年を機会に、子どもたちへの関心を、もう一度みつめなおしてみたいと思います。子どもたちはいま、本当に幸せなのかどうか、取りまく生活環境はこれでいいのか――これからは、子どもたちを仲間に入れた社会づくりを考えていかなければならないのではないでしょうか。

躾に厳しさを

子どもたちは弱い立場にあります。これを保護し、幸せを確保するのが、私たち大人の努めであるわけです。

ところが最近は、過保護や放任のためか、精神的にもろい子どもや、社会性の欠如した子どもが見受けられます。これを契機に、躾に厳しさを取り戻したいと考えています。

お買物、ご用命は市内で

ガスと安全

●ガスせん確認

おやすみ前やおでかけのとき、必ずガスせんが閉っているかどうかもう一度点検しましょう。ガスせんを指で示して確かめる方法は大変よい習慣です。

ガスもれにお気づきになったら！緊急通報

越後天然ガス TEL (4)―2171